

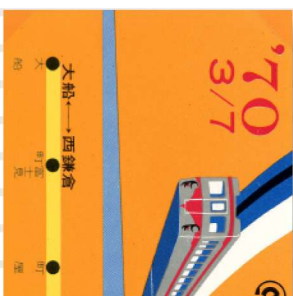
横浜都市発展記念館
Museum of Yokohama Urban History

2019年 7月13日(土) ~ 9月23日(月・祝)

●【開館時間】午前9時30分～午後5時(券売は閉館30分前まで) *8月10日(土)、9月14日(土)は午後7時まで開館します。／●【休館日】毎週月曜日 *ただし7月15日、8月12日、9月16日、9月23日は開館し、翌日の火曜日は休館します。／●【観覧料】一般300円、小・中学生150円 *この料金で当館常設展および横浜ユーラシア文化館もご覧いただけます。*毎週土曜日、小・中学生と高校生は無料です。

●【主催】横浜都市発展記念館／●【共催】横浜市教育委員会

●【後援】朝日新聞横浜総局・神奈川新聞社・毎日新聞横浜支局・読売新聞横浜支局・NHK横浜放送局・+vkv



【◎内容構成◎】

I 記念きっぷに見る都市横浜の昭和

II 汽車・電車の切符の昭和史

III 記念きっぷで旅する日本の観光風景

【展示解説】

展示担当が見どころを解説します。参加費無料(観覧券が必要です)。いずれも45分間。

- 〔日時〕 (1) 7月21日(日) 午後2時～
(2) 8月10日(土) 午後5時～
(3) 8月25日(日) 午後2時～
(4) 9月14日(土) 午後5時～

【ワークショップ】
「日本一周ジャンボすころく」ほか

会期中の毎週末および祝日に当館1階にて開催(受付は午後4時まで)。申し込みは不要、参加費は無料です。

◎「ピツ」とタッチをすれば電車やバスに乗ることができるIC乗車券が広く普及し、今では紙の切符(きっぷ)を手にするのは少なくなりました。そもそも切符とは、賃金や料金が支払い済みであることを証明する紙片のことです。◎昭和時代になると、絵や写真を入れた記念の切符が登場します。横浜を含む大都市の路面電車(市電)からその発行が始まりました。そして、旅行が日常の娯楽となった昭和40、50年

代には、国鉄・私鉄を中心に全国で数多く作成され、「記念きっぷ」の最盛期を迎えます。

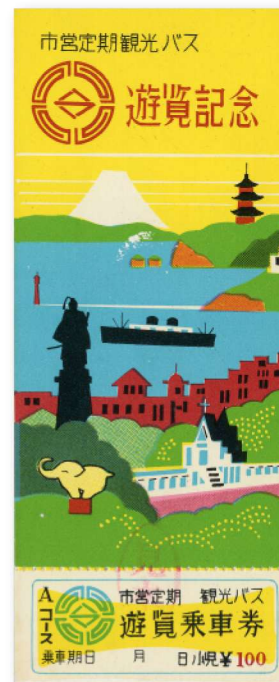
◎この企画展では、当館で所蔵する交通・観光関係の資料の中から、さまざまな記念きっぷを紹介します。都市横浜を舞台としたイベントをふり返り、また、日本各地の観光名所をめぐる。昭和のあの頃のなつかしい出来事や思い出の場所を探してみてください。



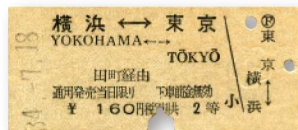
1



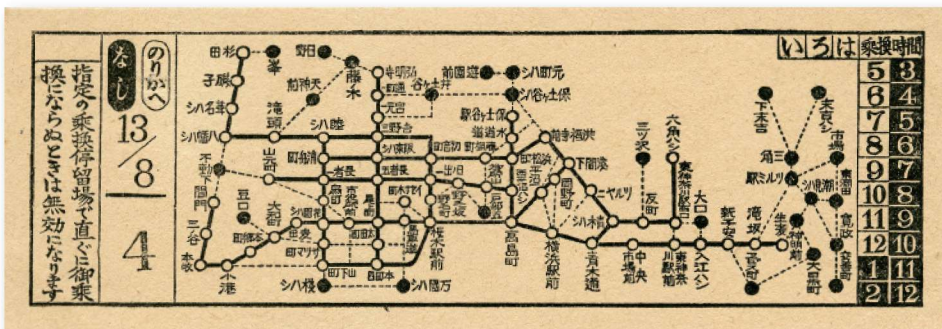
2



3



4



5

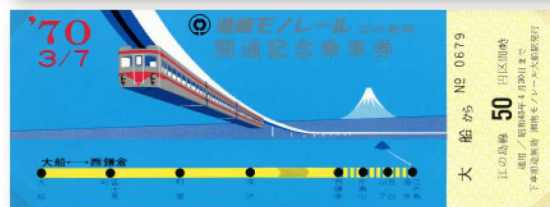


- ①「横浜スタジアムオープン記念乗車券」1978(昭和53)年、相模鉄道/
②「地下鉄開通記念」乗車券、1972(昭和47)年、横浜市交通局/③「市営定期観光バス遊覧記念」乗車券、1958(昭和33)年/④国電の乗車券(2等)、1959(昭和34)年/⑤横浜市内電の乗換え券、1938(昭和13)年/⑥道東の風土シリーズ急行券、1974(昭和49)年、国鉄釧路鉄道管理局/⑦「江の島線開通記念乗車券」1970(昭和45)年、湘南モノレール

6



7



みなとみらい線日本大通り駅(3番出口)0分/
JR根岸線関内駅(南口)・市営地下鉄ブルーライン関内駅(1番出口)から徒歩約10分/
横浜市営・神奈川バス「日本大通り駅県庁前」下車徒歩1分

横浜都市発展記念館

Museum of Yokohama Urban History

〒231-0021 横浜市中区日本大通 12

TEL.045-663-2424 / FAX.045-663-2453

http://www.tohatsu.city.yokohama.jp/